

2006 年度

科目名 家族援助論	対象学科・学年 文学部教福3回生 教育教福3回生	担当者 桜井 智恵子
授業テーマ 子育て家庭がおかれている状況の理解と支援		
授業の概要と目標 子どもが健やかに育つ環境を整えることは、社会を豊かにしていくことの基本です。ところが、少子高齢化、核家族化などに関わり、現代家庭はかつてないほど大きな変動の中にあります。今、家庭にはどのような問題があり、どんな支援が必要なのかを考えていきます。		
評価方法 出席とレポートの総合評価		
テキスト 市民社会の家庭教育	著者 桜井智恵子	出版社 信山社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. 家庭を取巻く状況と展望 2. 家庭教育の基本枠組 3. 「近代」と家庭 4. 1960年代家庭教育ブーム 5. 家庭教育論の史的総括 6. 家庭主義の普及 7. 診査される子育て 8. 戦略としての母性 9. 親子関係か、社会的子育てか 10. 家庭教育か、学校教育か 11. プライベート＝パブリック 12. 近代的家庭観 13. 主体性確立の時代 14. 自己責任と疎外 15. まとめ		